

2026年2月12日

令和8（2026）年度東京大学大学院情報理工学系研究科修士課程入学試験（冬入試）
書類選考の審査関係におけるミスについて

東京大学大学院情報理工学系研究科

令和8（2026）年度大学院情報理工学系研究科入学試験（冬入試）において、創造情報学専攻修士課程の書類選考の審査関係にミスがありました。当該ミスへの対応の経緯は次のとおりです。

なお、このたびは受験者の皆様に多大なるご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。この事実を厳粛に受け止め、深く反省するとともに、今後、再びこのような事態が起こらぬよう必要な対策を講じ、再発防止に取り組んでまいります。

【対応の経緯】

創造情報学専攻大学院入学試験（冬入試）、修士課程の書類審査合格者発表後、同審査の採点の集計に一部誤りがあることが判明しました。そのため、改めて全ての受験者を対象に再点検を実施し、本専攻の選考基準に照らして厳正に再判定を行い、かつ、受験機会の提供の公平性を踏まえて、受験者全員を合格とする措置を行いました。

また、追加合格者に対しては、筆記試験及び口述試験を別の日程においても受験できるよう試験日時を追加設定する措置を行いました。なお、別の日程で受験した場合でも、同等の審査基準で試験は実施されており、全ての受験者の公平性は確保されています。